

										(別添資料1)							
事業所名		kids へいわ			支援プログラム(参考様式)			作成日	2025 年		3 月	17 日					
法人(事業所)理念		出会いを大切に目(EYE)を離さず愛情を持って一人ひとりを大切に個性を伸ばす。															
支援方針		子ども一人ひとりの発達や特性を普段の関わりの中から適切にアセスメントをし、保護者さまのご希望と子ども自身の目標を踏まえながら様々な教材を組み合わせオーダーメイドの療育を行います。お子さま一人一人の特性を踏まえて、耳から情報を得ることが苦手な子どもや見通しが立たないことに不安を感じる子どもには、写真や絵カード、スケジュールボードを使った視覚支援や、余計な情報を排除した支援スペースを準備して子どもが活動に取り組みやすい環境設定を心がけています。また日々の活動を通して成功体験を増やし、子ども自身の自己肯定感を育んでいきます。															
営業時間		9 時			00 分			18 時		00 分		まで		送迎実施の有無		あり	
支 援 内 容																	
本人支援	健康・生活	毎朝の検温、整理整頓、身辺整理、衣類の着脱、排便などに対して適切なサポートをして、段階的なステップアップを目指すことにより子どもが自立的に健康や生活に関するスキルを身に付けられるようにしています。その中でも、視覚的な補助や身体的な補助を子ども一人一人に合わせて行うことにより、適切なサポートと補助を的確に少なくしていき子どもの自立を促していきます。															
	運動・感覚	一人一人の発達段階に合った運動面(姿勢や運動動作の向上)のアセスメントや身体的な未熟さがある子どもへの支援等を行います。姿勢や運動動作の向上をねらいとし、必要に応じて個々に合わせた補助的手段(椅子の工夫・踏み台の活用)のアセスメントを行います。															
	認知・行動	個々の認知発達に合わせた、個別療育を一日40分以上支援(微細運動・空間認知・言語発達・ソーシャルスキル等) 感覚から認知へつなげる為の必要な情報処理を促し認知機能の発達を支援 認知→行動へと繋げるよう、具体的な行動にて支援 物や空間などの概念形成を図ることで、認知や行動の手掛かりとなる概念の形成を支援 数量・大小・色等将来の学習につながる基礎力構築を支援 適切な行動の学習と、問題提議行動の予防へ向け、応用行動分析やタイプに合わせた構造化による支援															
	言語コミュニケーション	コミュニケーションから相手の意図を的確に理解したり、自分の考えを適切に伝える支援をします。子どもの成長段階に合わせて言葉のコミュニケーションに限らず絵カードや指差し、マカトン等、その子に合った意思伝達方法を身につけられるように支援をします。年齢に合わせた相手や状況に合わせた適切な言葉遣いや発言タイミングの理解や周囲の状況の理解等の支援を行います。															
	人間関係社会性	他者・お友達との関わりや集団の中でのルールの遵守等の理解を深められるように支援をしていきます。急に集団に入るのではなく、段階を作りスモールステップで無理なく本人の間われる人数を増やしていきます。例えば、マンツーマンでの療育から始め先生と本人との信頼関係を構築し、ペアでの支援で先生と一人のお友達との関わりの中で適切な関係性や信頼関係を学び、トリプル、小集団といったように段々と関わる人数を増やしていきけるようにサポートをします。															
家族支援		送迎時にてお困りごとのヒアリング、電話相談や個室での個別相談の時間を設けます。核家族化の影響もあり保護者が子育ての中で孤立してしまうケースが多くみられるため、保護者の居場所作りや安心感を育むために保護者会や座談会、ペアレントトレーニングの実施を行います。					移行支援			保護者の要望がある場合に地域の保育園や幼稚園、就学先に向けてのご家族への情報共有を行います。また情報共有を行う場合には、個人情報に配慮し事前に保護者と開示範囲に関して同意を得たうえで情報の提供を行います。							
地域支援・地域連携		相談支援事業所、保育園、幼稚園、社協、行政、併用利用先の事業所等の周辺の関係機関との連携を積極的に行います。子どもの選択肢の幅を広げるために、常に周辺地域からの情報を集め、必要に応じた適切な情報を子どもと保護者に届けられるようにします。また、保護者からの要望があった場合に周辺関係機関と子どもの情報共有を行います。その際も、事前に共有する情報の範囲などを事前に確認をして、個人情報に配慮した対応をいたします。					職員の質の向上			子どもの人権を尊重しながら子どもの可能性を広げられるような関わりができるように研修を実施していきます。研修にて、子どもの人権の理解や虐待防止の理解について深められる機会を作り、障害特性の理解や発達状況に関するアセスメントの研修を行います。							
主な行事等		親子教室・地域のイベント・近隣の公園等へのお出かけ・事業所内での工作活動															